

出演者プロフィール



川上 昌裕（かわかみ まさひろ）

北海道生まれ。東京音楽大学ピアノ演奏家コース、及びウィーン市立音楽芸術大学を首席で卒業。NHK『クラシック音楽館』、『名曲アルバム』、『名曲リサイタル』などテレビやラジオへの放送出演多数。これまでにオーストリア、フランス、イタリア、スペイン、ドイツ、クロアチアなどヨーロッパ各地で演奏。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、ソロ・リサイタル、ピアノ・デュオ、室内楽、協奏曲のソリストなど多くの演奏活動を行なっている。『バラキレフ&スクリャービン』、『メトネル 嵐のソナタ』、『カプースチンピアノ作品集①～③』など11枚のCDをリリース。

ソリストとして2012年にピアノ協奏曲第4番の日本初演、2013年にピアノ協奏曲第6番の世界初演、2016年にはピアノ協奏曲第3番の世界初演、そして2018年には日本センチュリー交響楽団の定期演奏会でピアノ協奏曲第5番の日本初演とCD初録音を果たした。世界でニコライ・カプースチン作品の初演数が一番多いピアニストでもあり、カプースチンの紹介者・演奏家としては世界の第一人者と目されている。



伊石 有里（いせき ゆり）

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻、同大学院修了。大学在学中、専門特殊研究科に在籍、卒業演奏会など学内選抜演奏会に出演、卒業時に優秀賞受賞。大学院ではロシアの作曲家、N.カプースチンについて研究し、論文「カプースチンの演奏法に関する一考察～24の前奏曲作品53を通して～」を執筆。現在この論文は日本カプースチン協会ホームページにて公開されている。

2016年、2019年にロシア現地で行われるモスクワ音楽院夏期セミナーにてエレナ・リヒテル氏に師事。辻村佳壽子、川上孝子、木村直美、芹澤佳司、松本昌敏の各氏に師事。



黒岩 白雪（くろいわ さゆき）

神奈川県出身。2005年よりドイツ、オランダ、横浜みなとみらいホール、東京サントリーホールで、室内楽をワルシャワ・フィルコンサートマスター等と共演。

2009年2月、中学3年生で初リサイタルを行ない演奏活動を開始。2015年3月、日暮里サニーホールにてデビュー10周年記念リサイタルを行う。第59回全日本クラシック音楽コンサート優秀賞受賞。第16回大阪国際音楽コンクールピアノ部門Age-G 第3位。第10回東京ピアノコンクール一般A部門 審査員特別賞受賞。これまでに黒澤亮子、西村佳織、日置寿美子、松浦健各氏に、20歳より川上昌裕、川上ゆかり各氏に師事。



森 浩司（もり こうじ）

東京音楽大学ピアノ演奏家コース、同大学研究科卒業。現在はフリー奏者として、伴奏、ソロ、アレンジ、CD製作等、多岐にわたり精力的に活動中。特にアンサンブルピアニストとして多くのアーティストから信頼をあずかり、特に打楽器の伴奏や、オーケストラの鍵盤奏者として豊富な経験を持つ。2013年、N・カプースチン作曲「2台のピアノと打楽器のための協奏曲」日本初演に参加。2015年、東京都交響楽団ヨーロッパツアー2015に参加。これまでに竹中淳子、江口文子、山下葉子、矢野真道、関根有子、鷺見加寿子の各氏に師事。



C. BECHSTEIN